

赤田2号墳(横浜市)

ここは赤田西公園/この中に赤田2号墳があると云う



前方に低いマウンドが見えて来る



これが赤田2号墳のようだ



反対側に廻ってみる/左手に説明坂が立っている



これが移築復元された赤田2号墳/円墳/6世紀後半の築造



あか だ こう ふん 赤 田 2 号 墳

(旧所在地 緑区荏田町1502)

この一帯は以前「赤田」と呼ばれ、起伏に富んだ丘陵地形で、縄文時代から中世までの墓塚や、古墳・横穴墓など14ヵ所の遺跡があり、昭和60年から63年にかけて調査が行われました。

ここに復元した赤田2号墳は自然地形を利用して築いた、径約20mの円墳で、北側と南西側には周溝がありました。

石室は、泥岩の切石を用いた両袖型の横穴式石室で、女室は床面が3つに区切られて川原石が敷かれていました。遺体はこのいちばん奥に安置されていたようで、この部分は一段高く川原石の下には泥岩の切石がきれいに敷かれていました。

女室の中からは耳環や、勾玉、管玉、切子玉、薬玉等の首飾り、鈴刺(腕輪)、大刀・鉄錐等の武器、刀子(ナイフ)、須恵器の甕、杯が出土しました。墳丘からは須恵器の提瓶、甕の破片、北側の周溝からは土師器の杯が出土し、

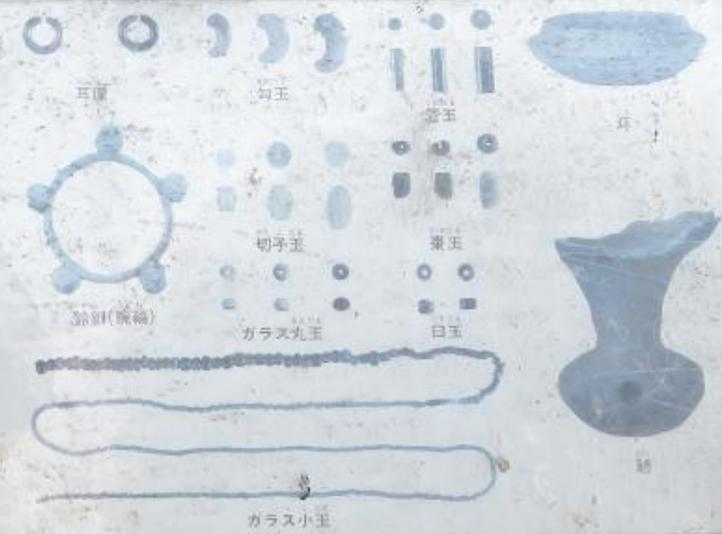
墓前祭等が行われたと考えられます。

この古墳は、6世紀の後半に築かれたもので、この地域の横穴式石室の中でもっとも古いもののひとつです。そして、この古墳の南側斜面には42基の横穴墓があり、同じ場所に古墳と横穴墓が造られていて、古墳と横穴墓の被葬者の関係を知るうえで貴重な資料です。

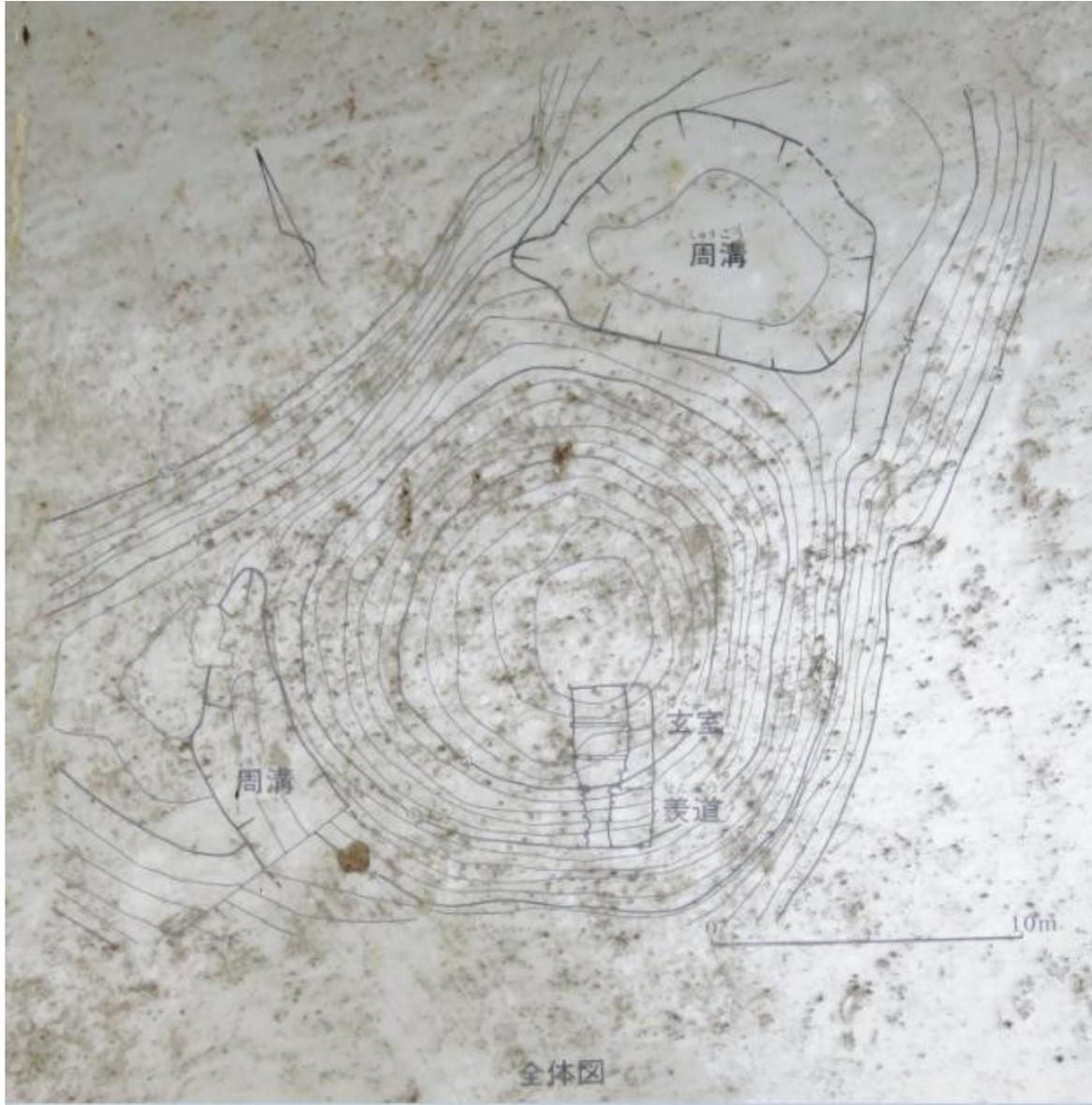
なお、この古墳は本来ここから東へ410m、北へ310m、標高56.8mの丘陵上にあったものですが、石室をGRCにて造形保存復元し、墳丘を調査結果に基づいて復元したものです。

平成8年3月

赤田土地区画整理組合
横浜市教育委員会文化財課
日本家業史研究所



横穴式石室全景



復元された横穴式石室/正面は玄室



墳頂に登ってみよう





そこから石室を見下ろしたところ/両袖形であるのが見て取れる/玄室床面は3室に仕切られている



右手から見たところ/仕切り石が見て取れる



左手から見たところ



参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/yokohama_akata2/

<https://blog.goo.ne.jp/kurihira201/e/07b303b3e5ad3dc5a201a380df1f36b9>

<http://kofunmeguri.hatenablog.com/entry/2017/12/19/010000>

<http://pennihonshi.blog.fc2.com/blog-entry-453.html>

<http://home.a00.itscom.net/kunipa/akada2goufun.htm>

<http://obito1.web.fc2.com/yokohama.html>

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/ar3/cnt/f6656/documents/914056.pdf#search=%27%E8%B5%A4%E7%94%B2%E5%8F%B7%E5%A2%B3%EF%BC%88%E6%A8%AA%E6%B5%9C%E5%B8%82%EF%BC%89%27>

